

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	第二の緑の革命をめざす環境保全型超多収イネの作出
研究代表者	牧野 周（東北大学・大学院農学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者は、イネの多収性戦略として光合成（ソース）機能の強化を目指して、<b>Rubisco</b>量増強イネの作出等の着実な成果を収め、国際的にも高い評価を受けている。本研究では、<b>Rubisco</b>量増強イネに、電子伝達系、<b>Rubisco activase</b>、カルビン回路鍵酵素の3要素を改良して、更なる光合成機能の増強を行い、加えて、ソース能とシンクサイズとのバランスを考慮した研究を展開するものである。基礎研究レベルでの貢献のみならず、具体的なイネの多収戦略にもつながり、波及効果も大きいことが期待される。以上の理由から、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>